

令和7年フェロモントラップによるコナガ誘殺消長

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによる誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

【コメント】

5月は多くの地点で平年と比べ多い誘殺頭数でした。地点によっては、6月以降も平年値と比べ誘殺頭数が多いので、注意してください。

- ・塩尻市では、平年と比べ遅い、4月第4半旬に初誘殺され、4月～7月第4半旬の誘殺頭数は平年と比べかなり少なかった。
- ・小諸市では、調査開始の3月第1半旬から誘殺され、4月第4半旬～5月第3半旬まで平年値の数倍の誘殺頭数であった。6月～7月は、6月中旬がやや多かった他は、平年並～やや少なかった。
- ・上田市では、初誘殺は平年と比べやや早く、4月の誘殺頭数は平年と比べやや多かったが、5月～6月はほぼ平年並、7月は平年と比べ少なかった。
- ・原村では、5月第1半旬の誘殺頭数が平年の約5倍であった。5月中旬～6月第3半旬は平年並であったが、6月第4半旬以降は平年と比べ多かった。
- ・朝日村では、調査開始の4月第1半旬から誘殺され、5月以降、7月第4半旬まで、誘殺頭数が平年と比べかなり多かった。
- ・大町市では、5月第4半旬から誘殺頭数が多く、5月第4半旬～7月第6半旬までの総誘殺数は、過去3年間の平均値の約2倍の誘殺頭数であった。
- ・長野市では、4月第3半旬から誘殺され、5月の総誘殺頭数は平年の約3倍と多かったが、6月に入り平年並となり、7月は平年と比べ少なかった。



